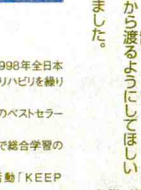
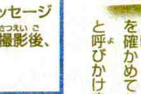


出光

この出張授業は「セーフティードライブ」をテーマにした事故のない車社会を目指し、充実したカーライフを送るよう取り組んでいる出光興産の活動の一環です。

レーシングドライバー
太田哲也さん

チャレンジする
ことの素晴らしさを語る



失敗をおそれず、挑戦し続ければ、夢はかなう

15年前、レース中の大事故で全身にヤケドを負った太田さん。「全治3年」という闘病生活を経て、人生というレースに復帰しました。入院中の絶望やリハビリの苦しさを乗り越えた体験から、生きる大切さを語りかける出張授業「夢を実現するために チャレンジ」を開催。今年も多くの応募校のなかから2つの小学校で行われました。



夢を実現するために
チャレンジ

落ち込んでいるより
チャレンジしよう

僕は事故後のリハビリを絶望のなかで送っていました。自分ほど不幸な人間はいないと思ひ死ぬことまで考えました。それが、事故映像を初めて見たとき、あまりの大事故で死ななかったことに驚き、生かされていていると感じました。そのまま何もせず、他人をうらやんで生きるより、自分が再びチャレンジしなければと思いました。



新しい夢に向かって生きる

右手が使えないので左手で字を書き、お箸を持つ練習をしました。次ぎ散歩に出て、車の運転にも挑戦しました。日常生活は送れるようになったけど、元通りの体には戻りませんでした。プロのレーサーとしての復帰は無理だと悟ったのです。でもこの体験がよかった。これからは違う夢を見つけて、違う仕事を目標そうと思えたからです。

宮城県大崎市立高倉小学校 全児童55名



低学年も含めた全児童が熱心に聞き入りました

会場に集まった55名の児童たちは目を輝かせて講演に聞き入っていました。終了後、お礼として素晴らしい合唱を聞かせてくれました。

埼玉県三郷市立前間小学校 4・5・6年生 児童87名



夢を持つ、の呼びかけに大きな反響がありました

講演を聞いた児童たちは、太田さんのメッセージが強く心に残ったようでした。校庭での記念撮影後、サインを求める列が続きました。



Photo: Kenji Sakine

太田哲也 (おおたてつや)

1959年11月6日生まれ。自動車評論家・レーシングドライバー。4年連続フェラーリでルマン24時間レースに出場。日本一のフェラーリ連いの異名をとる。1998年全日本GT選手権で事故に巻き込まれ瀕死の重傷を負い、再起不能といわれながら、23回の手術とリハビリを繰り返して、事故から2年半後にサーキットに復帰した。復活までを自らがつづった著作「クラッシュ」リバーシ」は、スポーツドキュメントとしては異例のベストセラーになり映画化もされる。現在は自動車評論家として多数の連載をもつ。2005年6月に出版した「生き方ナゾ」は、学生、教育関係者から絶大な支持を集め、小中高で総合学習の教材としても使われている。ライフワークとして若い世代に「チャレンジする素晴らしさ」を伝える社会貢献活動「KEEP ON RACING」(ホームページhttp://www.keep-on-racing.com)も主催。

積極的に生きて進んでいく

ひとつ、夢をかなえる方法を教えます。チャンスの女神と仲良くすることで。チャンスの女神とは、色々な経験や出会いのことです。なにことも「面倒くさい」「ムリ」と片付けている人に、チャンスの女神は訪れませんが、運の良い人になることが成功の秘訣です。失敗や恥をかくことをおそれず、積極的に生きて、出会いや体験を増やすことで運が開き、夢は実現します。

出光セーフティードライブ 事故のないクルマ社会を目指して

太田さんは講演の最後に交通安全の呼びかけもしています。車は素晴らしい乗り物ですが、事故というリスクもあります。最近は歩行者の不注意などによる事故が多いというデータもあります。横断歩道で信号が青でも、くれぐれも注意し、自分の目もしっかり安全を確認してから渡るようにしてほしいと呼びかけました。

主催 / 朝日小学生新聞 朝日中学生ウイークリー 共催 / 出光興産株式会社

人もクルマも、安全第一。事故のないクルマ社会を目指しましょう。

ほっと安心、もっと活力、きっと満足。出光の約束

出光興産公式ホームページ <http://www.idemitsu.co.jp/>